

シンポジウム プラスチックの海洋汚染を止めよう きれいな海を未来の子供たちへ

講演 高田秀重 東京農工大学教授

パネルでスカッション（パネリスト）

日本プラスチック工業連盟 岸村小太郎氏

東京都内湾漁業環境整備協会 小泉 正行氏

そのほか1、2名のパネリストを検討中

8月26日（土）13:30～

江戸川総合文化センター 研修室

参加費 300円 定員 200名 申込み先着順



写真は荒川船堀橋下流左岸に流れ着いて溜まったごみ。ペットボトルや発泡スチロール容器が目立つ。円内は護岸に打ち上げられて溜まったプラスチックの破片。

毎日使っているペットボトルやレジ袋、様々な包装に使われているプラスチック製品はいつまでも自然界に残り、紫外線によって劣化・細分化して海洋を汚染し続けています。このままでは、2050年には、海洋生物よりプラスチックごみの数が多くなるといわれています。細分化されたマイクロプラスチックは PCB やダイオキシンなど有害化学物質を高濃度で吸着しプランクトンや魚の体内にも蓄積され、食物連鎖で人体に取り込まれることが心配されています。昨年6月の国連総会で「海洋プラスチック汚染は、気候変動、生物多様性と並ぶ最も重要な地球環境問題」と位置づけ、予防原則の立場で対処することが確認されました。

高田教授はこの問題の世界的研究者です。先生のお話を聞き、日常生活の中で使い捨てプラスチックの流出を止める方策について一緒に考え話し合ひましょう。

<主催・申し込み先>

共催 NPO 法人えどがわエコセンター循環型社会づくり委員会
NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム



お申し込みはFAX・Eメールで住所・氏名・電話番号をお知らせください。

TEL・FAX: 03-3655-1387 (留守電に申し込んでも結構です)

Eメール edosalon@jcom.home.ne.jp

東京都江戸川区東小松川-3-35-13-204

